

学校教育目標

挑戦し 高め合う子

一歩前へ ナイストライ 振り返り

令和元年 8月 27日(火) 2学期 始業式 校長の話

夏休みは楽しかったですか。きっと楽しい思い出がたくさんできたと思います。

夏休みは終わってしまいましたが、大きな事故やケガもなく、みなさんがまたここに集まることができて、本当にうれしいです。みなさんは、「2学期の始業式には元気でここに戻ってくる。」という宿題がしっかりできましたね。ありがとう。

さて校長先生は、夏休みに入ってからすぐ、素敵なプレゼントをもらいました。今からそのお話をします。

7月25日、竜洋西小学校で行われた地区水泳大会に、全校児童を代表して6年生が出場しました。豊浜小の6年生は他の学校より人数が少なかったため、会場の雰囲気にもまれてしまい、いつもの力が出せるか心配でした。でも、大会が始まってすぐ、それは間違いだと気づきました。

6年生全員が、力いっぱい泳ぎと元気な応援をしてくれました。出席したすべての6年生がいろいろな種目で自己ベストを出し、順位も全体の上位に食い込みました。それだけではありません。力いっぱいの応援の声は、豊浜小の仲間たちだけでなく、合同練習してくれた福田小の子供たちにも送られたのです。

6年生の様子を見ていた他の学校の先生方が、「豊浜小の6年生は、人数が少なくても応援の大きな声が聞こえてきたよ。」「豊浜小の子供たちは、のびのびと泳いでいるね。人数が少ないと緊張してしまうことが多いのに、それを感じないよ。」と感心していました。それを聞いて私はとてもうれしかったです。そして、6年生から感動という素敵なプレゼントをもらった気持ちがしました。

6年生の皆さん、素晴らしい感動をありがとう。心から感謝します。皆さんは豊浜小、そして豊浜の誇りです。

さて、今日から2学期がスタート。

8月と9月の目標は「さわやかあいさつを心がけよう」です。

来週木曜日5日には、オーストラリアのブニンヨン小学校の皆さんが豊浜小にいらっしゃいます。歓迎の気持ちをこめて、ここにいる誰もが素敵な挨拶ができるようにしましょう。2学期もさわやかな挨拶をお願いします。

右の写真は「児童代表の言葉」の発表です。

みんなすばらしい発表ができました。



磐田市南地区小学校水泳大会

7月25日(木) 磐田市立竜洋西小学校を会場に磐田市南地区小学校水泳大会が開催され、豊浜小学校6年生が参加をしました。本校の6年生は、競技はもちろん頑張りましたが仲間の応援や会場での態度も素晴らしいものでした。結果は以下のとおりです。

【リレー種目】

女子 150mメドレーリレー 第5位 女子 200mリレー 第4位
男子 150mメドレーリレー 第3位 男子 200mリレー 第6位

【個人種目】

女子 25mバタフライ 第3位 男子 25mバタフライ 第2位 男子 100m平泳ぎ 第2位
女子 100m平泳ぎ 第3位 男子 25m背泳ぎ 第1位 男子 50m背泳ぎ 第2位
女子 50m背泳ぎ 第6位 男子 100m自由形 第4位



広島平和学習の旅 報告【一部省略】 6年1組 代表児童

わたしは、豊浜小学校代表として、広島に行って戦争のことをたくさん学んできました。特に印象に残ってるのが、原爆ドームです。原爆ドームを見ると戦争の悲惨さが伝わってくるし、これからもずっと原爆ドームを残して行って、戦争のことを広い世代に知ってもらおうとしている人たちの対策や行動がすごいと思ったからです。

原爆ドームはもともと「広島県産業奨励館」でした。当時の最先端技術を使用して、デザイン・建設されました。博物館・美術館など経済・文化の拠点として広島市民に親しまれていました。しかし、戦争が激化するにつれて官公庁や統制組合の事務所に利用され、その役割も変えていったのです。原爆ドームを見ると戦争の悲惨さが伝わってきます。

原爆の爆発の瞬間、爆発点は圧力が高まり、周りの空気が急に膨らんで爆風となりました。爆心地から半径2kmまでの地域では、ほとんどの木造の建物は壊されました。鉄筋コンクリートの建物は、つぶれなかった場合でも窓や家具などが吹き飛ばされ、その内部はすべて焼けてしまうなどの大きな被害を出しました。

爆風により、人々は吹き飛ばされ即死した人、けがをした人、倒れた建物の下敷きになって亡くなった人、下敷きになったまま焼け死んだ人がたくさんいました。広島に原爆が落とされてわずか10秒で何もかもが崩れ14万人の人が亡くなりました。戦後は4年以上絶対に植物が生えないと言われていたけれど、数日後にはもう新しい芽が出ていました。植物の力のすごさを感じますね。

わたしは、広島派遣団に参加したことで、多くのことを学ぶことができました。その中で心に残ったことが2つあります。

一つ目は戦争の恐ろしさです。わたしは広島に行くまで、戦争のことをあまりよく知りませんでした。けれど原爆ドームを見たり、平和祈念資料館の写真や映像が目に入り込んできたりすると、まるで自分がその場にいるような気持ちになりました。もう二度とこのようなことを起こしてはいけないと改めて思いました。

二つ目は平和のありがたさです。おいしいご飯が食べられて、温かいお風呂に入れて、友達と一緒に勉強することができて、こんな当たり前の毎日がとても大事なんだと知ることができました。戦争中は、今当たり前にできることが絶対にできない時代でした。だから自分のやりたいことができて、幸せに暮らせるこの平和のありがたさに心から感謝したいと思います。

戦争はもう二度と起こしてはいけません。けれど世界では、まだ争いが続いている国や核兵器をたくさん持っている国が多くあります。この世から戦争を完全に無くすことはできないかもしれませんが、けれど少なくすることはできると思います。日頃からあいさつをしつかりしたり、思いやりの気持ちをもったりして、生活をしていきたいと思っています。



